

意見書案第4号

安倍元首相の国葬の中止を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和4年8月3日提出

提出者  
向日市議会議員 山田千枝子

賛成者  
向日市議会議員 米重健男  
〃 杉谷伸夫  
〃 飛鳥井佳子

## 安倍元首相の国葬の中止を求める意見書

参議院議員選挙中の街頭演説中に銃撃され、死去した安倍元首相の国葬を9月27日に日本武道館で行うことを岸田文雄内閣が決定した。

国葬の費用を丸抱えする法的根拠が不明確であり、国による弔意の強制につながる危険が極めて高く、不安や批判、抗議の動きが広がっている。

国葬を行う国民の懸念に耳を貸さず、国葬の決定を押し切った岸田内閣の姿勢は重大である。

国葬を規定した法令は今の日本にはない。戦前の国葬令（1926年制定）では①天皇や皇族②「国家に偉功ある者」などが対象だった。国葬には天皇制の強化や侵略戦争の推進のために利用された歴史がある。戦後、日本国憲法の制定に伴い国葬令は失効した。よって岸田内閣の閣議決定での安倍元首相の国葬は中止すべきである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年8月3日

京都府向日市議会